

学部のCP－学科のCP①

学部 CP	学科 CP①	
<p>理工学部では、幅広い教養や理工学全般の知識に加え、専門性の高い知識及び情報の収集・発信に関する知識を主体的に修得すること、また、それらを科学技術業界や地域社会へ活用し、貢献できる人材の育成を目的とし、教養を養成する基本教育科目、理工学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心とするカリキュラムを展開する。</p>	食環境学科	<p>食環境学科では、食と環境に関する幅広い知識を主体的に修得し、科学の基礎知識に根ざした情報収集力・情報分析力・論理的思考力を確実に身につけ、食環境の諸問題への取り組みを通じて社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、食環境分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技能、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	生物科学科	<p>生物科学科では、生物科学全般に関する幅広い知識を主体的に修得し、データに基づいて分析する力及び論理的に思考する力を確実に身につけ、それらを社会へ発信して活用、貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、生物科学分野の基礎知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	機械工学科	<p>機械工学科では、機械工学分野に関する幅広い知識と技能を主体的に修得し、ものづくりを中心とした機械産業の諸課題を探究できる論理的かつ創造的な能力を実践的に身につけ、それらを活用して社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目、機械工学分野の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、応用領域や関連領域に関する専門性の高い知識と技能、論理的な思考力と問題解決能力を養成する専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいて編成する。</p>
	情報電子工学科	<p>情報電子工学科では、情報・電子技術を駆使して、高度情報通信社会の諸問題に柔軟に対応し、新しい社会の構築に貢献する技術者の育成を目的とする。この目的を果たすために、自然科学全般と人文・社会科学の科目から構成される基本教育科目に加えて、情報・電子分野の技術を駆使するために必要な専門基礎科目および専門展開科目、創造的思考力と研究遂行能力を養成する専門研究科目から構成されたカリキュラムを展開して、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
<p>経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>	経営学科	<p>経営学部では、経営学全般の幅広い知識を主体的に修得し、それらを企業や地域社会の運営・管理に活用することのできる人材を育成する。この目的を果たすために、経営学全般の基礎的な知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>
<p>人間学部では、人間が創り出した文化と人間の原点である教育を柱とする人間の理解に関する知識を主体的に修得し、それらを活用して地域社会の発展と向上に貢献できる人材の育成を目的とし、文化、教育に関する基礎的な知識を養成する専門基礎科目、より専門性の高い知識と技術、論理的な思考力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開する。</p>	人間文化学科	<p>人間文化学科では、人間が創り出した文化を言語、芸術、生活、社会の4側面からとらえ、今日的文化状況や文化構造に関する知識および関連する技能を修得することにより、地域社会の創成や文化振興に貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的を達成するために、幅広い教養と文化学に関連する専門的知識を修得する科目、文化に関する各種情報を収集・分析し、その成果を的確に情報発信する能力を身に付ける科目、地域の文化振興に主体的に取り組む態度や志向性を涵養する科目、文化に関わる研究テーマについて調査・分析・考察を行い、それを一定の成果としてまとめ上げる能力を育成する科目により、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>
	人間教育学科	<p>人間教育学科では、保育・教育に関する幅広い知識と基本的技能を主体的に習得し、現代社会における保育・教育の諸課題の解決に創造的、実践的に取り組む能力を身につけ、保育・教育の発展に寄与できる人材を養成することを目的とする。この目的を果たすために、保育・教育学の知識を養成する専門基礎科目、専門性の高い知識や技能、また論理的、創造的に思考する能力を養成する専門展開科目を中心にカリキュラムを展開し、次の方針に基づいてカリキュラムを編成する。</p>

情報電子工学科のCP②

教育上の目的	養成する人材	DP	CP②	授業科目	
情報電子工学科は、現代の高度情報通信社会で、AIやIoT技術を駆使して活躍する技術者の輩出をめざして、広い産業分野の諸問題に柔軟に対応できる、情報と電子技術の基本を身につけた人材の育成を目的とする。	興味と適性に応じて、ソフト技術とハード技術をバランスよく身につけさせ、高度情報通信社会の発展を支える新しい技術開発やビジネス創造に挑戦する活力に溢れた技術者を養成する。	情報電子工学科では、社会人に必須な教養と科学・情報リテラシーに加えて、高度情報社会を切り拓く情報・電子技術の基本を身につけた者に学士(工学)の学位を授与する。	【幅広い教養と専門的知識】 ①現代社会を生きるための人間、社会、自然に関する基本知識と異分野の技術者と協調して仕事をするための科学リテラシーを身につけ、情報・電子分野の専門知識および実験・解析技術を活用して、自らデータの収集・分析を行う能力を有している。	①-1 人間の内面を理解するための科目を配置する。	日本の歴史、世界の歴史、異文化理解の人類学、哲学-知の起源-、芸術と文化、日本文学へのいざない、心理学-心の科学-
			①-2 社会の仕組みを理解するための科目を配置する。	社会学の世界、法と社会、法と人権、経済と社会、地理学-身近な地域から世界まで-、地域と政策	
			①-3 自然と人間の間を総合的に理解するための科目を配置する。	生命と地球、物質とエネルギー、環境と科学、健康科学と身体運動、生活習慣と健康管理	
			①-4 理工分野の基盤を支える数学、物理、化学、生物の基礎科目に加えて、情報電子の専門分野を学ぶために不可欠な専門基礎科目を配置する。	基礎化学A、基礎化学B、基礎生物学A、基礎生物学B、基礎物理学A、基礎物理学B、数学、理工数学、化学、生物学、物理学、情報電子工学実験Ⅰ、情報電子工学実験Ⅱ、コンピュータ概論Ⅰ、コンピュータ概論Ⅱ、電子計測の基礎、電磁気学ⅠA、電磁気学ⅠB、応用数学、情報システム概論ⅠA、情報システム概論ⅠB、電気回路A、電気回路B、電磁気学Ⅱ、熱力学、解析学、基礎物理化学	
			①-5 興味と適性に応じて、情報・電子分野の知識を広げる専門応用科目を配置する。	電子物性学、電子回路、システム制御工学、半導体デバイス工学、プログラミング論Ⅰ、プログラミング論Ⅱ、情報システム概論ⅡA、情報システム概論ⅡB、信号処理基礎論、集積回路工学、センサ工学、電気・電子回路応用、パワーエレクトロニクス、画像情報工学、磁気工学、自動車工学Ⅰ、情報ネットワーク、オプトエレクトロニクス、シミュレーション工学、プログラミング論Ⅱ、自動車工学Ⅱ、自動車制御工学、情報通信工学、組み込みソフトウェア、情報技術者専門科目Ⅰ、情報技術者専門科目Ⅱ、情報電子工学特別科目Ⅰ、情報電子工学特別科目Ⅱ、情報電子工学特別科目Ⅲ、情報電子工学特別科目Ⅳ	
			①-6 情報・電子分野の実験・解析技術を実践的に身につける科目を配置する。	情報電子工学実験Ⅲ、情報電子工学実験Ⅳ	
			【情報収集力と情報発信力および専門的能力】 ②情報化社会の諸問題へ対処するための情報リテラシーとコミュニケーション能力を身につけている。	②-1 情報活用に必要な基本技術を習得する科目を配置する。	情報活用法Ⅰ、情報活用法Ⅱ、情報社会論、基礎統計学、基礎数学
				②-2 情報を効果的に活用・伝達するためのコミュニケーション能力を養成する科目を配置する。	日本語技法A、日本語技法B、英語A、英語B、英語C、英語D、英語コミュニケーションA、英語コミュニケーションB、英語コミュニケーションC、英語コミュニケーションD、中国語AⅠ、中国語AⅡ、中国語BⅠ、中国語BⅡ、フランス語AⅠ、フランス語AⅡ、フランス語BⅠ、フランス語BⅡ、ドイツ語AⅠ、ドイツ語AⅡ、ドイツ語BⅠ、ドイツ語BⅡ、ハンガールAⅠ、ハンガールAⅡ、ハンガールBⅠ、ハンガールBⅡ
			【主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢】 ③地域社会と人間の間を踏まえて、責任感と倫理観をもって自分のキャリアを志向することができる。	③地域社会の歴史、文化、経済を学び、地域との絆を意識して、キャリア形成を考える科目を配置する。	キャリア設計、キャリア開発、キャリア研究、国際体験研修、フレッシュマンセミナー、いしのみき学、復興ボランティア学、ボランティア論、ボランティア演習、総合科目
			【創造的思考力と研究遂行能力】 ④情報電子工学科で学んだ知識と実験・解析技術を駆使して、自ら課題を見いだして探求する創造的思考力を身につけている。	④情報電子工学の諸問題の解決に向けて、実践的な研究遂行能力を育むための科目を配置する。	学外見学・実習、情報電子工学実験Ⅴ、情報電子工学演習、卒業研究